

ぼくのゆめ

かわま小 一ねん しば はじめ

おじいちゃんがながいきしますように。

これは、ぼくがねんちゅうのときに、たなばたのたんざくにかいたねがいごとです。なぜなら、ぼくのゆめは、おじいちゃんのとをついでのうぎょうをするごときだからです。

ぼくのいえはのうかで、こめとやさいをつくっています。おとうさんのいないぼくは、なんでもできるおじいちゃんが、かっこよく

てだいすきです。ちいさいころから、

ういまからなにをするの。

と、いつもわくわくしながら、あとをついていきます。はたらきもののおじいちゃんはいききは、いつもたんぼやハウスです。しごとをしながら、ぼくにいろいろなことをおしえてくれます。こめやさいのそだてかた、いきものやてんきのこと。ぼくがしつもんすると、なんでもこたえてくれます。ぼくがいちばんすきなしごととは、のうぎょううきかいに

のることです。おおきなトラクターやたうえきにのせてもらって、おじいちゃんのおじょうずなうんてんをみながら、きがいのはなしをするのはたのしいです。ぼくもはやくこんなふうにのりたいな^あと、いつもおもいます。いまは、じぶんでつくったレゴのたうえきで、イメージトレーニング^ウです。

そんなスーパーマンのおじいちゃんも、セーイくんはしごとからかえると、かたやひざがいたいといひます。ぼくも、一ねんせいにな

ったので、てつだいきががんばっています。たうえでは、なえのはこをあらってほこんだり、ついひのときは、くらくな^たおじいちゃんのおしもとをかいち^ウうでんとうでてらしたりしました。おじいちゃんは、

「ありがとう。たすかるよ。」

といっでくれたけど、おじいちゃんみたいにな^たってらくさせるには、もうすこしじかんがかかります。だからま^ててね。おじいちゃんにまけないおいしいこめをつくれるひまで。